

おうちの方へ

学校保健委員会だよりで、定期健康診断の結果報告をさせていただいたきました。その中で、令和4年度は、令和3年度より肥満傾向の割合が増えていることをお伝えしました。また、夏休み明けに、身長伸びに対して体重の方が、たくさん増えてしまった人もいます。これから、おいしいものがたくさんある冬休みをむかえます。

栄養教諭の先生に、食生活のポイントの資料を頂きました。ご参考にしてみてください。

食生活ふりかえり チェック

- 朝ごはんは必ず食べている
- 栄養バランスに気をつけている
- よくかんで食べている
- 好ききらいをせずに食べている
- 間食は時間と量を決めている
- 糖分や脂質、塩分のとりすぎに気をつけている

将来健康に過ごすために、子どものうちからできることを続けていきましょう。

「よくかんで食べると早くおなかがいっぱいになる」と聞いたことはありませんか？これは本当で、かむことによって生じる情報は、脳の”満腹中枢”を刺激します。そうすると少ない量でも満腹感を感じることができます。早食いすると満腹感を感じるまで食べすぎてしまいがちなので、一口30回かむことを目標にしていきましょう。

●かむ回数を増やすポイント

- ・一口の分量を少なくする
- ・食べるときに水分をとらない（水分で流し込まない）
- ・かみごたえのある食品を食べる

かみごたえのある食品の例

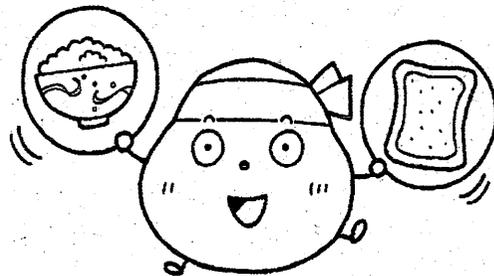
するめ・こんにゃく・ごぼう・にんじん・れんこん

炭水化物ぬきダイエットはやめましょう

炭水化物を多く含む食品をぬいたり、極端に量を減らしたりするダイエットのことを「炭水化物ぬきダイエット」や「低炭水化物ダイエット」といいます。しかし、たんぱく質や脂質からエネルギーをとる割合が高くなることで、体に悪い影響をおよぼす可能性が指摘されていて、自己流の誤った方法で行うと危険です。

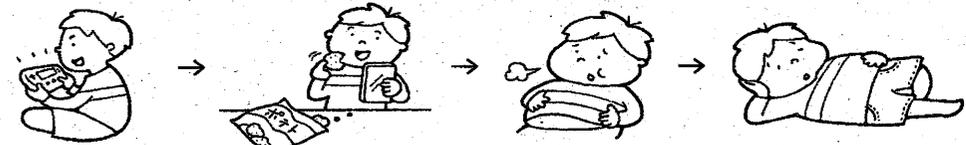
また、ごはんやパンなどの炭水化物を多く含む食品は、体や脳のエネルギー源としてとても重要なのでしっかり食べましょう。

ダイエットをする上でも栄養のバランスをととのえることは大切です。バランスのよい食事を取り、適度な運動をしましょう。



悪循環を断ち切って肥満を予防しよう

外遊びが減少 → ながら食べをする → 太る → 動くのがおっくう



現代はスマートフォンの普及や塾通いなどで外遊びが減り、運動不足になりがちです。また、ながら食べによって間食をとりすぎると太ってしまい、さらに運動の機会が減ります。望ましい生活習慣を身につけ、悪循環からぬけ出しましょう。